



IIAE大気環境総合センター特別セミナー  
室内環境学会連携企画  
**暮らしに潜む大気環境問題**  
全3回シリーズ

第1回 2023年11月17日（金）13：30～15：30

『室内環境における健康影響問題の経緯と近年の動向』

東 賢一（関西福祉科学大学）

第2回 2023年12月13日（水）13：30～15：30

『化学物質と健康：皮膚ガスの視点から』

関根 嘉香（東海大学）

第3回 2024年1月23日（火）13：30～15：30

『事故・災害時における化学物質環境調査 – その現状と将来展望 –』

中島 大介（国立環境研究所）

我が国における化学物質の管理は、製造から廃棄までのライフサイクル、用途や環境中動態など、多角的な観点から法整備がなされ、被害の未然防止への体系が整備されている。しかしながら、事故や災害時における化学物質の漏洩や曝露対策については未だ課題が残されているのが現状である。

2022年、環境省は「地方公共団体環境部局における化学物質に係る災害・事故対応マニュアル策定の手引き」を13年振りに改訂した。この中で環境部局における事故対応マニュアル策定の必要性が記載され、他部署・全庁的な法定計画等の策定との関連付けについて言及した。

一方、その具体的手法について書かれた「緊急時における化学物質調査マニュアル」は1998年に編纂されて以降更新されていないが、その間に大きな技術的進展があった。

今回はまず東日本大震災以降のいくつかの災害における化学物質環境調査の事例を技術と体制の両面から紹介し、続いて災害時に有効と思われる自動同定定量システム（AIQS）の技術的展開と地方環境研究所等への実装への取り組みについて紹介する。

またこれらの技術が災害時のみならず平時にも活用されるようになってきた現状と、化学物質モニタリングの将来像も展望したい。

主催：一般財団法人大気環境総合センター

協賛：一般社団法人室内環境学会

場所：IIAEセミナールーム/ZOOMハイブリッド開催

参加費：一般 3000円、セミナー会員 1000円、賛助会員 無料

要  
事前登録  
要

下記サイトから事前登録をお願いします。

登録された方には後日ZoomのURLをお知らせします。

[https://iiae.or.jp/seminarlist/special\\_seminar/](https://iiae.or.jp/seminarlist/special_seminar/)

問合せ：IIAE大気環境総合センター 事務局

TEL 03-6801-6082 Mail: info@iiae.or.jp

